

## 平成 23 年度 十和田商工会議所要望に対する回答一覧

### <重点要望事項>

- ・ 高齢社会にも対応した県立の多目的室内スポーツ施設の  
中心市街地への建設実現・・・・・・・・・・ 3
- ・ 十和田市の都市計画道路佐井幅・高清水線の早期着工促進・・・・・・・・・・ 5

### <要望事項>

- ・ 十和田市中心市街地活性化基本計画の推進と  
各種活性化事業および関連事業への支援・・・・・・・・・・ 6
- ・ まちなか居住空間の整備促進と居住支援策の拡充について・・・・・・・・・・ 7
- ・ 「上北横断道路」(三沢―天間林間)の  
早期全線供用に向けた整備促進・・・・・・・・・・ 8
- ・ 一般国道 103 号青樺山バイパスの早期整備促進・・・・・・・・・・ 9
- ・ 市立中央病院内のトイレ案内表示等の見直しについて・・・・・・・・・・ 10
- ・ 県立三本木高等学校南側道路における  
生徒送迎時の混雑解消に向けた駐車帯の整備・・・・・・・・・・ 11
- ・ ボランティア及びコミュニティー意識の醸成・・・・・・・・・・ 12
- ・ 中心市街地への公営住宅建設・・・・・・・・・・ 13
- ・ 稲生川や線路に遮断された南北間の往来活性化のために、  
主要地方道三沢十和田線に進入する道路の増設を含めた早期整備促進・ 14
- ・ 北里大学西側における既存道路の舗装整備促進・・・・・・・・・・ 15
- ・ 積雪時における歩行者の安全確保及び通学路等における  
歩行者の安全確保を考えた道路づくりの促進・・・・・・・・・・ 16
- ・ 市内の橋梁について耐震強度の調査と補強改修の促進・・・・・・・・・・ 17
- ・ 市街地の市道における交通量等利用状況に応じた  
高耐久舗装の整備促進・・・・・・・・・・ 18
- ・ 公共施設等の耐震化の促進・・・・・・・・・・ 19
- ・ 耐震調査費用及び耐震工事費用についての助成施策について・・・・・・・・・・ 20
- ・ ユニバーサルデザインの啓蒙とユニバーサルデザインに配慮した  
案内看板・標識等を含む公共建築物の整備促進・・・・ 21
- ・ 奥入瀬溪流銚子大滝付近道路における  
渋滞緩和に向けた駐車場の整備促進・・・・・・・・・・ 22
- ・ みどころ、食、イベント、駐車場情報等の発信機能の整備促進・・・・・・・・ 23

- ・ 中心市街地に観光客を受け入れるための  
大型バス等対応可能な駐車場の整備促進・・・・・・・・・・24
- ・ 十和田市駅を含む十和田市現代美術館までの歩道整備の早期完成  
及び現代アートを考慮した案内板の設置・・・・・・・・・・25
- ・ 新幹線八戸駅に直結する道路(八戸・十和田・奥入瀬ライン)  
の早期完工促進・・・・・・・・・・26
- ・ 中央公園内既存トイレの改装と増築・・・・・・・・・・27
- ・ 十和田市の将来に向けての抜本的用途指定地域の見直し・・・・・・・・・・28

## 重点要望事項

### 高齢社会にも対応した県立の多目的室内スポーツ施設の 中心市街地への建設実現

#### <要望の内容>

我が国の人口全体のなかで 65 歳以上の高齢者が高まっています。人口の年齢構成は、昭和 30 年頃までほとんど変化がなく、高齢者の割合は 5%程度のみでした。しかし、その後しだいに高齢者の割合が高まり、70 年には 7%、80 年 9.1%、90 年 12%、2000 年 17.3%と、この割合は今後も上昇すると予想されています。また、日本の高齢化は、諸外国と比較してもそのスピードが速いのが特徴のようです。

十和田市においても、平成 13 年から人口が減少傾向にあり、少子・高齢化が進んでいます。平成 2 年から平成 12 年までの 10 年間に 0 歳～14 歳の年少人口は 2,884 人減少し、一方、65 歳以上の老年人口は 4,784 人の増加となっています。

高齢化社会になることにより、労働不足や年金制度の整備さらには老人医療の問題等、多くの課題を抱えることとなり、今から、その対策を適切なものとしていく必要があります。幸いにも、青森県が目指している「スポーツ立県」、そして十和田市は「市民一人一スポーツ」を合い言葉に、スポーツによる青少年育成と健康の維持増進に取り組んでいるところですが、四季を通して使える施設が不足しているのが現状です。

県内地域に根ざしたスポーツ振興の拠点形成並びにスポーツを通じた青少年育成、さらには東北新幹線全線開業となったことから、全国各地から十和田市でのスポーツ施設を利用した合宿等も誘致しながら、地域の活性化に繋げていきたいと考えています。

つきましては、高齢化社会における健康維持増進や要介護防止、また、地域経済活性化推進のため、当市においての全国規模の会議・催事・スポーツ大会及び合宿所も兼ねた、四季を通して使える多目的室内スポーツ施設の設置について県への働きかけをお願いします。

### ＜回答の内容＞

十和田市の屋内スポーツ施設のうち屋内グラウンドについては、市街地に、志道館隣接の「市民屋内グラウンド」と南公民館隣接の「南屋内グラウンド」があり、郊外には、洞内地区に「農村集落多目的利用施設（通称おらんどーむ）」と今年 11 月に焼山地区に開設する「アネックス・スポーツランド」の 4 施設があります。

各施設ともゲートボール、グラウンドゴルフ、少年野球、少年サッカー、小中学校や高校などの部活動や大会等に大いに活用されていて、青少年の健全育成や地域活性化に寄与しています。また、冬期間においては高齢者の活動拠点として、ゲートボール、グラウンドゴルフ等での利用頻度が高くなっています。

こうした中、青森県では、平成 20 年 12 月に策定した「青森県行政改革大綱」において、大規模施設の建設は、財政健全化の見通しが立つまでの間、将来に向けた検討・議論を進めるとの方針を示すにとどまり、いまだに凍結解除に至っていません。

このようなことから、ご要望の中心市街地への県立の多目的室内スポーツ施設の建設実現に向けては、当該要望施設の検討をはじめ、近隣自治体を巻き込んだ協議の必要性など多くの課題もありますが、青森県の動向や当市の財政状況等を踏まえた誘致の推進策について、長期的な展望のもとで検討していきたいと考えています。

## **重点要望事項**

### **十和田市の都市計画道路佐井幅・高清水線の早期着工促進**

#### **<要望の内容>**

都市計画道路佐井幅・高清水線（幅員 27m、延長 8,340m）の実現は、主要地方道十和田・三沢線（以下 十和田・三沢線）の渋滞解消及び安全確保のためには、必要不可欠な重要な路線です。

県では元町及び北里大学駅付近の渋滞解消に向けて、道路拡幅のための用地買収、補償を進めていますが、工業高校前丁字路及び一本木沢踏切の慢性的な渋滞解消には至らないと考えます。また、同路線の整備は、広幅員で延長が長く、多額の費用と長期の整備期間が必要なことから、平成 19 年より市当局も県に対し重点事業として要望されていることを踏まえ、十和田・三沢線の渋滞解消、さらに一般国道 102 号のバイパス機能を備えた「佐井幅・高清水線」の早期着工促進に向け、県への働きかけをお願いします。

#### **<回答の内容>**

都市計画道路佐井幅・高清水線の整備要望は、平成 19 年度より市も県に対する重点事業要望として提出し、十和田市街地の交通需要を踏まえて検討するとの回答を得ています。

今後とも事業着手に向け、引き続き市から県に対する重点要望として要望していきたいと考えています。

## 十和田市中心市街地活性化基本計画の推進と各種活性化事業 および関連事業への支援

### <要望の内容>

十和田市中心市街地活性化協議会(以下・協議会)の意見書を受け、市が策定した十和田市中心市街地活性化基本計画(以下・基本計画)が、平成22年3月23日に国から認定されました。基本計画の活性化事業全般の推進はもとより、中心商店街における複合型商業施設「Art Station TOWADA -AST-」整備事業や商業住宅複合施設「(仮称)稲生プラザ・イースト」整備事業等の施設整備事業については、中心商店街活性化につながる事業計画の中でも是非実現したい計画であると考えます。また、当所を含め、協議会の設置者である㈱まちづくり十和田や各関係機関が実施する各種事業は、基本計画の推進において欠かすことのできないものと考えます。

つきましては、基本計画実現のためにも、㈱まちづくり十和田の運営支援を含め、今後とも市ご当局の特段のご配慮とご支援をお願いします。

### <回答の内容>

国の認定を受けた十和田市中心市街地活性化基本計画に基づき、中心市街地活性化を推進していくうえで、まちづくり会社、商工会議所等が果たす役割は、非常に大きなものであると考えています。

今後とも中心市街地活性化の推進のために、まちづくり会社の運営並びに商工会議所等の関係機関が実施する中心市街地活性化事業等については、十分に連携をとりながら協力していきたいと考えています。

## まちなか居住空間の整備促進と居住支援策の拡充について

### <要望の内容>

十和田市中心市街活性化基本計画において、「街なかへの共同住宅整備と居住支援」は大きなコンセプトのひとつであり、活性化事業の事例としては、「(仮称) 稲生プラザ・イースト整備事業」や「若年子育て世帯定住支援事業」が現在進められています。まちなか居住空間の整備はもとより、急激な少子高齢化社会への対応策として、まちなか居住支援策については、若年子育て世帯のみならず、高齢者等を含め対象年齢の条件緩和を図るべきと考えます。

つきましては、補助制度の拡充について特段のご配慮をお願いします。

### <回答の内容>

街なか居住の推進については、現在、若年・子育て世代を中心市街地呼び込み、減少傾向にある若者や子どもの人口増加や定住を図るため、若年子育て世帯定住支援を行ってきています。

街なか居住の支援については、若年子育て世帯の定住による人口増加や活性化を推進するため、当面、現状の形で支援していきたいと考えています。

中心市街地活性化におけるコンパクトで賑わいのある街づくりにおいて、街なか居住の推進は非常に大きな役割をもっていると考えていますので、今後も関係機関等と連携をとりながら、十和田市中心市街地活性化基本計画に基づいた取り組みをしていきたいと考えています。

## 「上北横断道路」（三沢―天間林間）の 早期全線供用に向けた整備促進

### ＜要望の内容＞

高速道路ネットワークの整備は、地域間の交流及び社会・経済活動の活性化を図り、安全・安心な自動車交通を確保する上で極めて重要です。青森県の高規格幹線道路の整備率は、全国及び東北平均と比べても未だに低い状況にあります。特に「八戸市～青森市間」は、同一県内で20万人以上の都市でありながら高速交通ネットワークで結ばれていない、全国で唯一の区間です。その中間に位置する上十三地域では、既存の「みちのく有料道路」及び「第二みちのく有料道路」等を活用して両市とを結ぶ主要幹線道路ネットワークを確立することが長年の悲願となっています。また、同区間の開通は第三次救急医療施設である八戸市立市民病院への患者搬送時間を短縮し、近隣市町村の救急医療にも大きく貢献することになります。今後とも、一般国道45号「上北道路」六戸町～東北町間を含め、「上北横断道路」約26kmの整備促進について、特段のご高配をお願いします。

### ＜回答の内容＞

上北横断道路は、みちのく有料道路と第2みちのく有料道路を接続する一般国道45号のバイパスとして重要であり、現在、国土交通省で整備を進めています。

六戸町から東北町までの延長7.7km「上北道路」が平成17年度、東北町から天間林までの延長7.8km「上北天間林道路」が平成20年度に事業着手されています。

しかしながら、「上北天間林道路」からみちのく有料道路までの延長8.3km「（仮）天間林道路」が未着手となっていることから、今後とも期成同盟会を通じて早期の事業採択について要望していきます。

## 一般国道 103 号青樵山バイパスの早期整備促進

### <要望の内容>

奥入瀬バイパスから子ノロに至る第 2 期バイパス（青樵山バイパス）の早期整備をお願いします。

### <回答の内容>

今年度は、昨年度に引き続き環境等各種調査及びトンネル施設予備設計などを実施することになっています。

また、県では当バイパスは大部分が長大トンネルであり、技術的課題が多いことから国の権限代行直轄事業による早期着手を国に対して要望しているとのことです。

## 病院内のトイレ案内表示等の見直しについて

### <要望の内容>

市立病院の利用者に優しい環境づくりから、病院を利用する方は子供から高齢者まで多くの方が利用しています。利用者からは、特にトイレ表示が分かりにくいことから、施設側でトイレ表示の見直し検討をお願いします。

### <回答の内容>

外来利用者のために以下の対応を実施しました。

- ① エントランスホールにトイレの案内表示を設置しました。
- ② トイレの入り口の「表示板」を目につきやすいように、低い場所に移しました。

各種案内については景観を重視するあまり、必要最低限の表示となっている場合もあります。

できる限り改善に努めます。今後とも、ご指導よろしく申し上げます。

## 県立三本木高等学校南側道路における 生徒送迎時の混雑解消に向けた駐車帯の整備

### <要望の内容>

同校では生徒送迎時、多くの車両で混雑します。付属中学校が開校してからはさらに多くの送迎車両で混雑するようになり、通過車両のスムーズな交通の妨げとなっていることから、南側道路に駐車帯を整備し、混雑解消が出来るようにお願いします。

### <回答の内容>

本市では、道路上に駐停車帯を設ける場合は、バス等の公共交通に対する停車帯と道路本線の交通を妨げない路外施設としてポケットパーク等に駐車帯を設けています。

また、道路に駐車帯を設ける事により、不審車両等、防犯上の問題も懸念されますので、道路上に駐車帯を設けることは考えていません。

## ボランティアおよびコミュニティー意識の醸成

### <要望の内容>

市民の参加と責任による豊かな社会の創造と発展は、市民一人一人のボランティア意識の高揚を図り、ボランティア活動の啓発、普及、研修、支援などが必要です。

特に最近、教育環境の面から校外活動が重要視される中で、ボランティア活動およびコミュニティー意識の醸成が課題であることから、その支援および環境づくりの具体策を検討、実現していただきますようお願いします。

### <回答の内容>

(ボランティア意識の醸成)

現在、学習支援型ボランティアとしては、北園小学校が独自のシステムを構築し、学校支援ボランティアを受け入れた授業、学校行事に活用しています。

また、環境支援型ボランティアについては、現在PTAなどが独自で学校を支援している状況にあります。今後、教育委員会では他市の状況を参考に、独自の学校支援ボランティアの推進体制づくりを研究していきたいと考えています。

(コミュニティー意識の醸成)

地域社会において、青少年が異年齢の子どもたちや異なる世代の人と交流する機会が減少していることから、地域社会における教育力の低下が指摘されています。地域の教育力の向上のためには、地域の中核となる子ども会や町内会、婦人会、老人クラブ等の活性化が必要であり、地域全体で子どもを育てるという気運の醸成が必要です。

教育委員会としては、家庭教育応援事業、放課後子ども教室推進事業、子ども会活動の活性化等に取り組み、家庭、地域、学校の連携を強化していきたいと考えています。

## 中心市街地への公営住宅建設

### <要望の内容>

少子高齢化が進む中、中心市街地の空洞化も大きな問題となっています。そこで、これらの対策の一つに中心市街地の定住人口を増加させ、また、高齢者の生活利便性を高めるために、中心市街地への高齢化社会に対応した公営住宅の建設実現とバリアフリーの道路・公園の建設実現をお願いします。

### <回答の内容>

公営住宅の整備については、現在、公営住宅ストック総合活用計画に基づき、老朽化した団地の建て替え整備を検討している状況です。

要望の少子高齢化に対応した中心市街地への公営住宅の整備については、本市の財政事情により、既存公営住宅の維持を優先せざるをえず、新規施設を市が直接整備することは困難な状況にあります。

現在、中心市街地活性化事業により、民間事業者・民間資金を活用した共同住宅等の整備計画が官民一体となり進められています。

今後の歩道・公園等の施設整備には、ユニバーサルデザインを取り入れ、視覚障害者用の点字ブロックの施設や段差の解消など高齢者や障害者だけでなく、誰でも安全で快適に利用できるようバリアフリー化を推進していきたいと考えています。

## 稲生川や線路に遮断された南北間の往来活発化のために 主要地方道三沢十和田線に進入する道路の増設を含めた早期整備促進

### <要望の内容>

同路線（稲生川交差点～十鉄駅前を通る市道を含む）の交通渋滞の原因は、同路線が狭いなど同路線への進入口が十分整備されていないことや同路線に接続する道路自体が少ないため、迂回し、結果として特定の進入口に集中してしまうことなどが考えられます。また、稲生川と線路で遮断された南北間の往来を活発化させ、経済活性化を促すことが、ひいては渋滞解消にもつながります、よって、同路線に進入または交差する道路の早期整備促進をお願いします。

### <回答の内容>

主要地方道三沢十和田線は、十和田市と三沢市を結ぶ重要な道路ですが、県道から市内方向へ接続する路線数も少なく、また、交差点部分の幅員が十分確保されていないなどから慢性的に混雑し市民生活に支障をきたしていることは認識しています。

このため、都市計画道路「下平・東小稲線」については、市道大学通り線から主要地方道三沢十和田線までの区間について整備を検討していきたいと考えています。

今後は、関係機関と整備のための協議を進めていきます。

## 北里大学西側における既存道路の舗装整備促進

### <要望の内容>

当市東二十三番町にキャンパスを構える北里大学獣医学部の周辺は、一般住宅に加え学生向けのアパートが多く建ち並び学生達の生活拠点となっています。

自家用車を所有する学生も少なくなく、時間帯によっては徒歩、自転車、車の学生達が多く行き交います。その中で、キャンパス西側に隣接する既存道路は道幅が狭く、十分な歩道が確保できないうえ、陥没箇所等も目につきます。

宅配や引っ越しの大型トラックも利用する道路であり、車同士はもちろん、歩行者とすれ違う際も安全な空間が確保できない状況下にもあります。

住宅が密集しているため道路の拡幅は無理にしても、現状より安全な交通を確保するため「北里大学西側における既存道路の舗装整備促進」をお願いします。

### <回答の内容>

住宅が密集していることから道路の拡幅が困難であるため、現道を利用して今年度中に舗装整備を行います。

## 積雪時における歩行者の安全確保及び通学路等における 歩行者の安全確保を考えた道路づくりの促進

### <要望の内容>

積雪時の車道の除雪状況に比べ、歩道の除雪は後回しになるのはやむを得ないが、通学路や歩行者通行量の多い箇所については安全確保に支障をきたすことのないよう、早期の歩道確保をお願いします。

### <回答の要望>

牛泊・儀兵平線の歩道の設置については、平成21年度から着手し、来年度に完了する予定となっています。

## 市内の橋梁について、耐震強度の調査と補強改修の促進

### <要望の内容>

県内の老朽化が進行する道路や橋梁など、近い将来、更新などに要する費用が膨大になることを想定し、県では社会資本の新たな維持管理の手法として全国に先駆けて導入した「橋梁アセットマネジメント」により、「いつ、どの橋梁に、どのような対策が必要か」を的確に判断し長寿命をはかるなど、健全な道路ネットワーク維持に全力で取り組んでいます。

当市においても、「橋梁」という社会資本の長寿化と利用者の安全確保のために、市が管理する橋梁に対する老朽化等への対応策として、耐震強度の調査とそれに伴う補強改修の促進をお願いします。

### <回答の内容>

現在、市の管理する道路橋は 269 橋あり、平成 8 年～9 年度の道路防災点検において、一部の橋梁について目視による簡易点検を実施しました。

今年度から 3 年間で、国庫補助の対象となる 60 橋について橋梁長寿命化修繕計画を策定し、計画に基づいて予防的な維持管理を行います。

その他の橋梁については、市独自の点検保守により長寿命化を図っていきます。

## 市街地の市道における交通量等利用状況に応じた 高耐久舗装の整備促進

### <要望の内容>

稲生川沿い南北両側道路（七郷通線から稲生橋）など、補修を必要とする市道が市街地の随所に見受けられます。これらはせつかく舗装・補修しても、比較的早い補修が必要となっているようです。今後の舗装・補修については、交通量等利用状況に応じた、より耐久性の高い舗装をお願いします。

### <回答の内容>

現在は、アスファルト舗装要綱に基づき道路舗装整備を行っております。

しかしながら、全線をこの要綱により整備すると相当の年数を要することから、路線によっては、民生の平等性確保の観点から簡易舗装による整備も考えています。

## 公共施設等の耐震化の推進

### <要望の内容>

3月11日発生の東日本大震災では、家屋の倒壊や津波により多くの方が亡くなりました。このような震災から生命を守るためには、公共施設等の耐震化を推進することが重要です。市が策定した耐震改修促進計画では、多数の方が利用する特定建築物の耐震化率は54.4%、そのうち庁舎や小・中学校等の防災拠点・避難施設となる公共建築物は47.8%と低く、平成27年度までに掲げている90%という目標には程遠い状況です。大規模地震時の拠点及び避難施設の安全性を確保するためにも、公共施設等の積極的な耐震化の推進をお願いします。

### <回答の内容>

#### ・学校施設

市内小中学校施設の耐震化を図るため、平成19年度から21年度にかけて耐震診断を実施し、地震の振動及び衝撃に対し倒壊・崩壊する危険性がある建物について、平成21年度から計画的に補強工事を実施しています。

今年は藤坂小学校及び甲東中学校の耐震補強工事を実施しており、これによって、特に緊急性の高い構造耐震指数（I s 値）0.3未満の学校施設はすべて改修されることとなります。さらに、藤坂小学校の特別教室棟の木造校舎についても、今年度実施設計を行い、平成24年度に改築予定です。

今後についても、基本的に構造耐震指数（I s 値）の低い学校施設から順次耐震化の整備を行っていきます。

#### ・学校施設以外の公共施設

市では耐震改修促進計画に基づき、公共建築物の耐震化を進めております。

現在、将来の日本を担う子どもたちの安全を守るために小中学校の耐震化に力を入れています。また、災害時の拠点施設となる庁舎の耐震化も重要な課題ですので、財政状況を見据えながら、市役所庁舎を初め、他の公共施設の耐震化にも取り組んでいきたいと考えています。

## 耐震調査費用及び耐震工事費用についての助成施策について

### <要望の内容>

地震はいつ発生するか分かりません。安全安心で住みよい十和田市に住みながらも、私たちが住む日本は地震大国としても知られています。過去の大震災においても尊い命が震災のために失われてきました。ほとんどが建物の倒壊に因るものと思われます。私たちが住む家、マンション、アパート、オフィスビル、学校などの耐震性は十分かどうかも把握できていないのが現状です。また、一般市民は耐震調査費用や耐震工事費用などについてもあまり知識がないものと思われます。安全安心なまちづくりを目指す十和田市においても、今後も起こりうるであろう地震に対して十分な備えが必要と思われます。特に収容人員の多い建物が震災時に倒壊しないようにするための耐震調査等が早急に必要と思いますので、耐震調査費用及び耐震工事費用の助成施策をお願いします。

### <回答の内容>

現在青森県では、県内の住宅の耐震性能改修工事に対して 30 万円を上限に工事費の 10%を補助しているところです。市独自の民間建物への耐震診断及び耐震改修費用の助成につきましては、今後引き続き検討していきたいと考えています。

なお、市立の学校施設については、平成 21 年度で、統廃合予定校を除く全校(小学校 11 校、中学校 5 校)の耐震診断を終了しました。

耐震工事については、平成 21 年度に法奥小学校校舎棟及び三本木中学校昇降口・廊下棟の補強工事を実施し、現在、甲東中学校及び藤坂小学校の補強工事を実施中であり、年内完成予定となっています。

## ユニバーサルデザインの啓蒙とユニバーサルデザインに配慮した案内看板・標識等を含む公共建築物の整備促進

### <要望の内容>

少子高齢化や国際化、生活の高度化・多様化がさらに進んでいく中で、障害者や高齢者、外国人、男女など、それぞれの特性や差異を超えて、すべての人が暮らしやすく、活動しやすい社会を作っていくことが重要な課題となっています。そこで、ユニバーサルデザインを採用し、誰でも安心して暮らせ、住みやすい十和田市を創造してもらいたいと考えます。

このようなことから、今後公営住宅など公共施設建設等の構想や検討をしていく中で、ユニバーサルデザインの考えを取り入れた住環境整備の推進をお願いいたします。

### <回答の内容>

高齢者や障害者をはじめ、すべての人々があらゆる活動分野で意欲や能力に応じて自由に社会参加・交流・安心して快適に生活できるように、ユニバーサルデザインの精神を踏まえたまちづくりを推進します。

今後、公共施設等の整備は、ハートビル法や県の福祉のまちづくり条例等に基づき行いたいと考えています。

## 奥入瀬溪流銚子大滝付近道路における 渋滞緩和に向けた駐車場の整備促進

### <要望の内容>

奥入瀬川本流にかかる唯一の滝である銚子大滝は、奥入瀬溪流における観光名所の一つであり、観光シーズンともなると多くの観光客が訪れます。しかし、その人気とは裏腹に駐車スペースは非常に小さく、また大型バスも往来するため交通渋滞が起きやすい場所でもあります。今年度は東日本大震災の影響から低調ですが、東北新幹線全線開業効果も含め、同場所における交通渋滞緩和のため駐車場の整備を進める検討をお願いします。

### <回答の内容>

環境省が定める公園計画では、道路通行安全上必要なもの以外は道路の拡張改良は認めないなど、現状変更行為は厳しく制限されているため駐車場の整備は予定されていません。

また、国道や遊歩道を管理している県においても、駐車場の整備は環境省の規制により非常に厳しいとの見解です。

奥入瀬溪流沿いを通る国道 102 号は、夏・秋の観光最盛期には交通渋滞が生じ、観光地としての快適性が阻害されていることは認識しており、十和田市が事務局をしている十和田湖周辺交通渋滞対策会議による春・秋の交通指導など渋滞緩和に努めているところであり、今後とも関係機関と協力しながら奥入瀬溪流の渋滞緩和に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

## みどころ、食、イベント、駐車場情報等の発信機能の整備促進

### <要望の内容>

十和田バラ焼きが全国に発信され、バラ焼きを食べられる「店情報」を中央交番に聞きに来る観光客もいるようです。また、観光客は市内の駐車場探しが容易でないなど、十分な情報発信環境に至っていない状況にあります。携帯電話、インターネット時代になって数年が過ぎたことから、大多数の方はこれらを使って情報を得ることが普通となってきました。十和田市としても消費者のニーズにあった対応をするため、早急に発信機能の整備が必要と思われることから検討をお願いします。

### <回答の内容>

観光情報については、十和田市のホームページやパンフレットを通じ発信に努めているところであり、さらに11月下旬に開館する十和田市観光物産センターにおいて、市の観光情報を一元的に発信する総合窓口としての機能をもたせるとともに、観光客からの要望の多い「十和田バラ焼き」の店舗情報や「駐車場」の位置情報などを重点的に発信するよう計画しています。

今後とも関係団体と協議しながら、観光客のニーズに即した情報の提供を図っていきたいと考えています。

## 中心市街地に観光客を受け入れるための 大型バス等対応可能な駐車場の整備促進

### <要望の内容>

現代美術館の見学及びバラ焼きを食べることを目的にした観光客が、市内中心街でも多く見受けられるようになりました。観光客の中には、大型バス等での方々も多く、駐車場を聞かれることも多々あります。美術館駐車場や有料駐車場を案内し対応していますが、観光客を商店街に滞留させ、街の賑わい創出に繋げるため、市中心商店街周辺に大型バス等対応可能な駐車場の整備をお願いします。

### <回答の内容>

十和田市現代美術館の見学や十和田バラ焼きを食べる観光客が訪れる際に、大型バス駐車場が中心商店街になく不便を来していること、また、お花見の時期には、官庁街通りに観光バスが駐車し交通渋滞を招くなどの光景も見られました。

十和田市としても、観光客の商店街への誘客のため、大型観光バスの駐車場確保による利便性向上は、重要事項と認識しているところです。

したがって、市では現在整備中の観光駐車場並びに中央公民館前中央駐車場に、大型バスが駐車できるスペースを確保し、利用可能な対策を取る一方、今後利用促進が図られるよう市民や観光事業者等に周知していきたいと考えています。

## 十和田市駅を含む十和田市現代美術館までの歩道整備の早期完成 及び現代アートを考慮した案内板の設置

### <要望の内容>

平成 20 年 4 月に中核施設となる十和田市現代美術館がオープンし、さらに今年 4 月に、美術館向かいにシンボルアートを設置、沿道にはストリートファニチャーの整備が行われ、Arts Towada 全体が完成し、十和田市の新たな観光施設として県内外から多くの観光客が訪れ、今後も増えることが予想されます。現在、美術館を訪れる方々は、車や観光バス等様々な交通手段を利用しておりますが、十和田観光電鉄線を利用し、徒歩にて来館している方は、十和田市駅から同美術館までの案内板が不十分なため不便を感じていると思います。さらに富士屋グランドホール前の歩道については、快適な通行空間が確保されていないことから、安全性と誘導性を考えて、十和田市駅から現代美術館までの歩道整備と、「アートの街」として現代アートを取り入れた誘導案内板の設置をお願いします。

### <回答の内容>

要望の内容は十和田市中心市街地活性化基本計画に位置付けている事業であり、歩道整備については「第 2 東裏通り線整備事業」及び「大学通り線整備事業」としてすぐに事業着手しています。

また、現代アートを取り入れた案内板は、「市街地歩行者サイン整備事業」として本年度は基本計画策定に着手しています。いずれの事業も平成 25 年度までに完了予定です。

## 新幹線八戸駅に直結する道路(八戸・十和田・奥入瀬ライン)の 早期完工促進

### <要望の内容>

主要地方道八戸三沢線、国道 45 号、国道 102 号(八戸・十和田・奥入瀬ライン)は、青森県内から新幹線八戸駅に向かう重要なアクセス道路であり、津軽地方の拠点都市弘前市と、南部地方の拠点都市八戸市を結ぶ東西横断幹線道路でもあります。

県内内陸部に位置する当地域にとって、八戸圏域や中央都市圏との連携・交流による活性化はもとより、広域観光面からも、八戸市から十和田市を経由して奥入瀬溪流、十和田湖へ向かう主要ルートであるとともに、八甲田連峰を経て県都青森市へ向かう重要な路線であります。しかしながら、同ラインはバス等の大型車輛が往来するには狭隘であることや、起伏が激しい箇所もあることなど、新幹線八戸駅へのルートとしては十分な機能を果たしているとは言えない現状にあります。

以上のことから、交通基盤整備が喫緊の課題となっており、同ラインの新幹線開通道路として位置付け、早期完工を図るよう強く要望します。

### <回答の内容>

今後も同ラインの早期整備が図られるよう、下記項目について関係機関に対し要望していきます。

- ・ 国道 102 号太田川原地区の日陰解消も含めた線形改良
- ・ 国道 102 号八郷地区の日陰解消も含めた両側歩道整備
- ・ 国道 102 号穂並町地区の交差点改良整備
- ・ 国道 45 号折茂地区のバイパス整備
- ・ 道の駅「ろくのへ」への情報発信施設の整備
- ・ 主要地方道八戸三沢線米沢地区のバイパス整備
- ・ 主要地方道八戸三沢線への案内標識の掲示

## 中央公園内既存トイレの改装と増築

### <要望の内容>

官庁街の中心に位置する中央公園は、花見やレジャー、各種イベントの開催場所として利用される他、野球場や陸上競技場が配置され、スポーツの場としても欠かすことのできない大切な存在であり、多くの市民に愛されてきました。しかし、その分施設の老朽化が懸念されます。特にトイレは、広く多くの人たちに利用されることが考えられるため、利用者が受ける印象は十和田市全体に対するイメージにつながることも考えられます。現場検証したところ、便器は水洗トイレ化されており使い勝手は良いものの、日中でも薄暗く、内部の老朽化も進行しており、快適に利用できるに至らない状況であります。そこで、中央公園内トイレの改装と、多くの来場者にも対応できるようそう施設の増築をお願いします。

### <回答の内容>

中央公園トイレの老朽化や花見時期など、イベント開催時のトイレ数の不足は認識しています。しかし、十和田市の財政事情を考慮すれば建て替えは困難です。

建て替えまでの間は、野球場スタンドや相撲場、さくらの広場のトイレを代替利用することをお願いします。

なお、公園案内図を設置し、公園利用者に代替トイレの所在地を周知していきたいと考えています。

## 十和田市の将来に向けての抜本的用途指定地域の見直し

### <要望の内容>

現状の用途地域における土地建物等の土地利用の実情を踏まえ、良好な居住環境の整備と商工業の振興、街の活性化という観点に立ち、都市計画用途地域の見直しをする際は、当商工会議所の意見要望を取り入れて下さるようお願いいたします。

### <回答の内容>

都市計画用途地域は、市街地の健全な形成を目的とし、昭和 35 年に都市計画決定し、人口増加を理由にこれまで 4 回の変更を行っております。平成 8 年に変更した結果が現用途地域です。

用途地域等都市計画については、5 年毎に都市計画基礎調査を行い、必要な見直しを図ることとしています。

今後、用途地域の見直しを図る場合は、市の総合計画や都市計画マスタープラン等との整合性を図るとともに、商工会議所を始め、関係団体や市民の意見・要望を聞きながら進めたいと考えています。